



財団法人柳田國男・松岡家  
顕彰会記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原 1038  
の12  
電話：0790-22-1000

# 第31回 山桃忌

## 8月8日 午前10時から



毎年、柳田國男と井上通泰の命日に近い8月上旬に、二人の業績を偲んで山桃忌(さんとうき)を行っています

また、8月1日から一週間、地元、辻川区による、辻川界隈展や民俗学の夕べが開催されます。昨年の三木家での界隈展

**短歌祭(10時)**  
場所(財)柳田國男・松岡家顕彰会  
記念館2階 講義室

### 講演会

(13時30分)

「柳田國男の思想と日本の将来」

講師 川田 稔 氏

(名古屋大学教授)

場所・柳田國男生家

参加無料 申し込み不要



一口メモ

柳田國男は昭和37年8月8日に数え年88歳で、井上通泰は昭和16年8月15日に同76歳で天寿を全うしています。國男の遺骨

は春秋苑墓地に、通泰の遺骨は多磨霊園に埋葬されています。また、通泰の分骨は福崎町西治の観音寺に埋められました。



## 福崎の方言

「テンコボシ」

これは「日に照らされつばなし」という意味です。

ふとんを朝干、したのはいいが、取り込むのをうっかり忘れてしまひ、夕方に気づいてあわてて取り込むという事はたまにありますよね。こういった場合に



## くによはん覚書

○水蜘蛛(みずぐも)



むかし奥州の半田山の沼で、夏の頃にある人が釣りをしていますと、珍らしくその日は沢山の魚が釣れて、わずかな間に魚籠が一杯になりました。ひどく暑い日であつたので、その人は、はだしになって足を沼の中に浸していましたが、どこから出たものか一匹の水蜘蛛が、水の上を走って来て、その人の足の拇指に糸を引懸け

『しもた、ふとん朝からテンコボシやんけ。はよ取り込まな。』などというように使用します。

洗濯物の中でも色物は「テンコボシ」にしていくと変色してしまうので気をつけましょう。

て行きました。そうして間もなく又来ては同じ所に糸をかけるので、不思議に思つてその糸をそつと拇指からはずして、傍にあつた大きな楊の株に巻き付けて置きました。そうするとやがて沼の底で、『次郎も太郎も皆来い』と、大きな声で喚ぶ者がありました。それにびっくりしていたら、魚籠の中の魚が一度に



皆飛び出して逃げてしまひました。沼では大勢の声で『

えんと えんやらさあ』という懸け声と共に、その蜘蛛の糸を引つ張り始め、見ている前で太い株根つこが、根元からぼつきり折れてしまつたそうです。

その時から後は誰一人として、今にこの沼へ釣りに行く者はないそうです。

(岩代伊達郡)日本昔話集

## 会員募集中!

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会は、一昨年、会員制度を発足させました。入会者には会員証をお渡ししています。

法人会費 一〇〇〇〇円  
個人会費 一〇〇〇円

### ★特典★

記念館無料入館



個人(本人+家族一名)  
法人(二口・四名まで)  
もちむぎのやかた  
レストラン1割引他